

緊急雇用創出事業基金事業「消防団員確保対策支援事業」

消防団に関する県民意識調査

報告書

平成 24 年 3 月

愛知県防災局消防保安課

目 次

I. 調査概要	1
II. 回答者の属性	2
III. 設問分析	
設問 1. 消防団を知っていますか	3
設問 2. あなたは消防団の活動をどのように評価されますか	5
設問 3. 消防団の主な活動のうちイメージが強いのはどの活動ですか	7
設問 4-1. あなたが消防団に望む活動は何ですか 平常時および大規模災害時（地震、台風など）以外の活動	11
設問 4-2. あなたが消防団に望む活動は何ですか 大規模災害時（地震、台風など）における活動	15
設問 5. あなたが消防団の加入対象者であったとします もし、消防団へ勧誘があった場合に消防団に入りますか	19
設問 6-1. 「はい」と答えた理由は何ですか	21
設問 6-2. 「いいえ」と答えた理由は何ですか	25
設問 7. 最後に、消防団員の減少傾向が続いていますが加入者が増加するような魅力 ある消防団にするにはどのようにしたらよいと思いますか	29

I. 調査概要

1. 調査の目的

県民各層の消防団に関する認知度・理解度等を把握し、消防団活動の効果的な啓発や消防団員の加入促進を図るための基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査概要

- ・ 調査実施期間： 2012年1月10日～2012年2月15日
- ・ 調査対象： 愛知県在住の16歳以上の人
- ・ 調査地点： 30地点
- ・ 標本数： 5,040人
- ・ 抽出方法： 無作為調査
- ・ 調査方法： 調査表による郵送アンケート調査

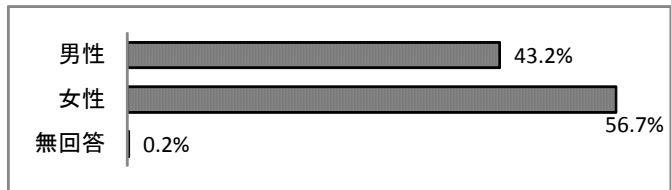
3. 回答状況

- ・ 有効回答数 1,788人
- ・ 有効回答率 35.5%

Ⅱ. 回答者の属性

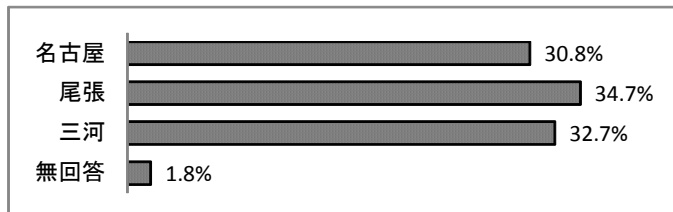
Q1.性別

	基数	構成比
男性	772	43.2%
女性	1013	56.7%
無回答	3	0.2%
全体	1788	100.0%



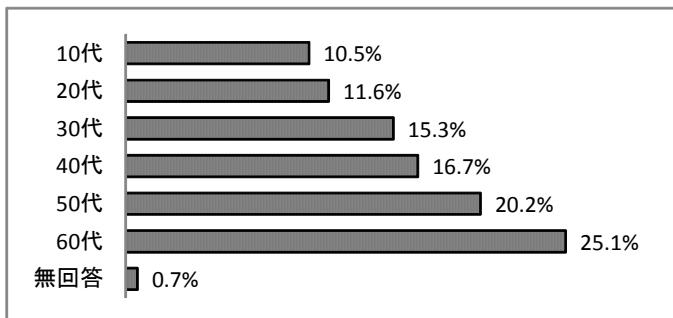
Q2.地域

	基数	構成比
名古屋	551	30.8%
尾張	620	34.7%
三河	585	32.7%
無回答	32	1.8%
全体	1788	100.0%



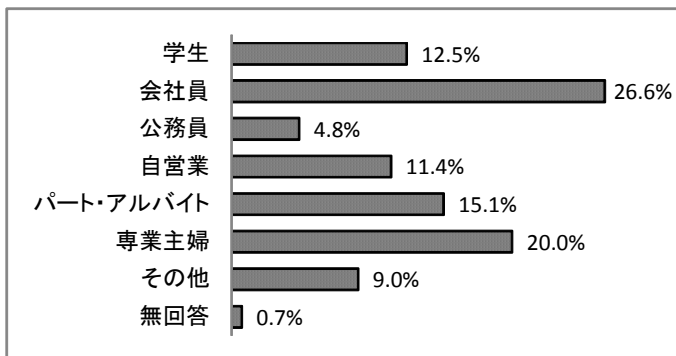
Q3.年代

	基数	構成比
10代	187	10.5%
20代	207	11.6%
30代	273	15.3%
40代	298	16.7%
50代	362	20.2%
60代	449	25.1%
無回答	12	0.7%
全体	1788	100.0%



Q4.職業

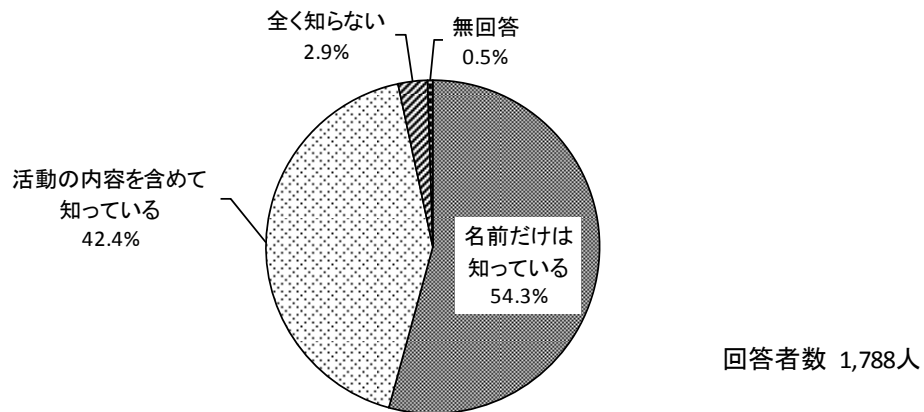
	基数	構成比
学生	223	12.5%
会社員	475	26.6%
公務員	86	4.8%
自営業	203	11.4%
パート・アルバイト	270	15.1%
専業主婦	357	20.0%
その他	161	9.0%
無回答	13	0.7%
全体	1788	100.0%



Ⅲ. 調査結果

設問 1. 「消防団」を知っていますか

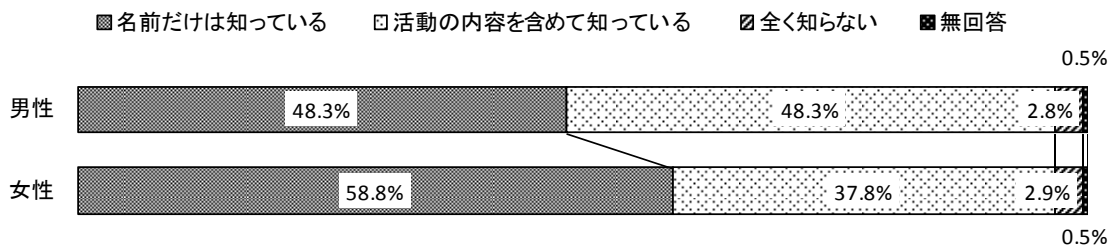
1 「消防団」を知っていますか（☑ は一つ）
□ 活動の内容を含めて知っている □ 名前だけは知っている □ 全く知らない



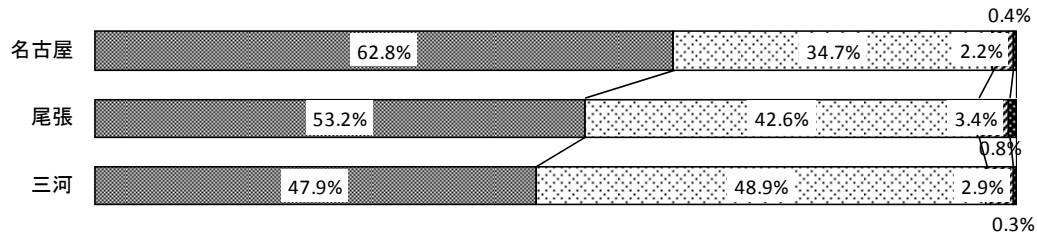
消防団について、「名前だけは知っている」と答えた人の割合が、54.3%、「活動の内容を含めて知っている」が42.4%となっており、合わせて96.7%の人が、消防団の存在を知っている。

設問 1 属性別回答結果

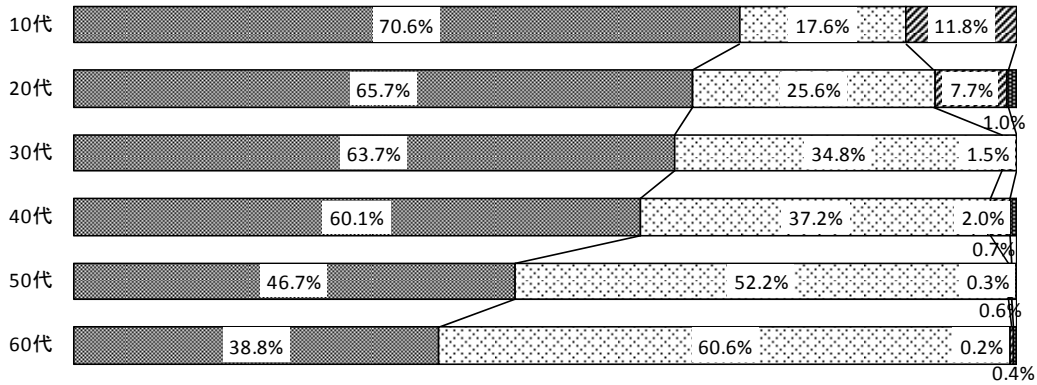
【性別】



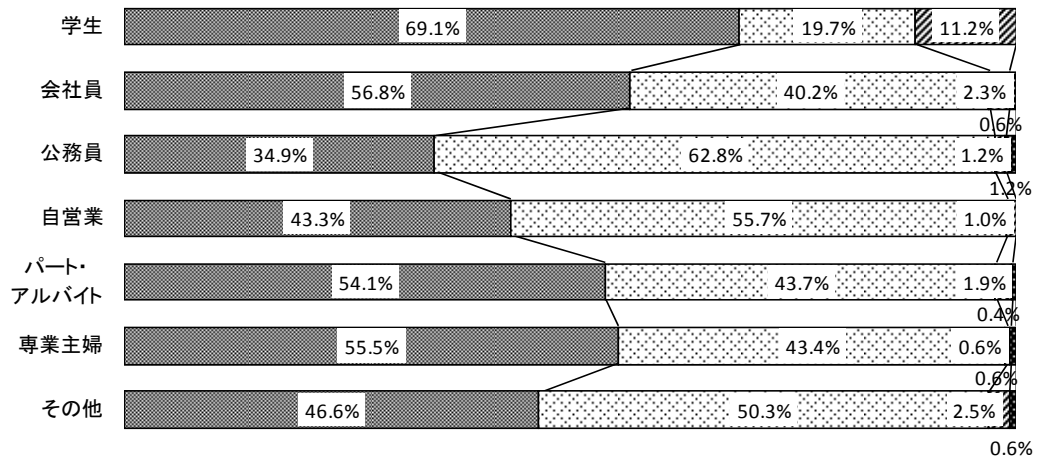
【地域別】



【年代別】



【職業別】



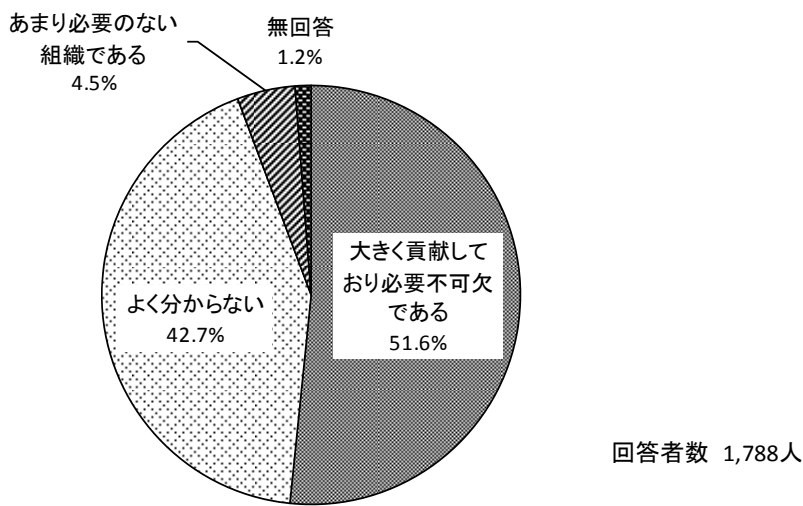
地域別で見ると、三河で「活動の内容を含めて知っている」と答えた人の割合が48.9%と尾張に比べ約6ポイント、名古屋に比べ約14ポイント高くなっている。

年代別で見ると、60代で「活動の内容を含めて知っている」と答えた人の割合が60.6%と10代の17.6%に比べ43ポイント高く、年齢層が高いほど消防団の活動が理解されている。

職業別で見ると、「活動の内容を含めて知っている」答えた人の割合が、公務員で62.8%と一番高く、次いで、自営業で55.7%となっている。

設問 2. あなたは消防団の活動をどのように評価されますか

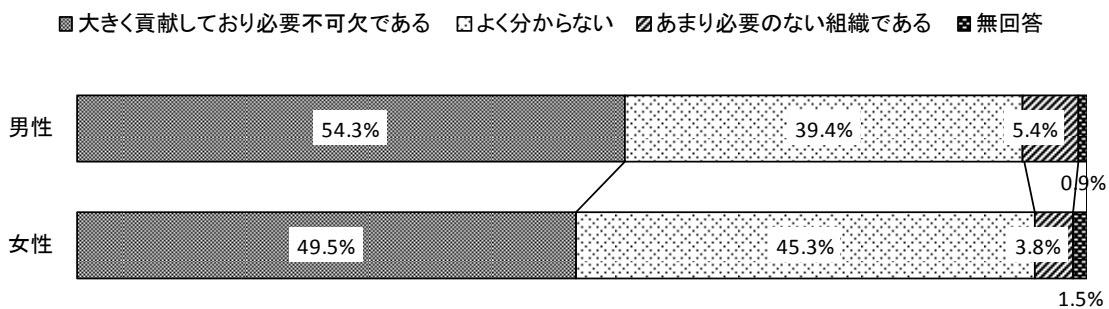
2 あなたは消防団の活動をどのように評価されますか (☑ は一つ)
 大きく貢献しており必要不可欠である あまり必要のない組織である
 よく分からない



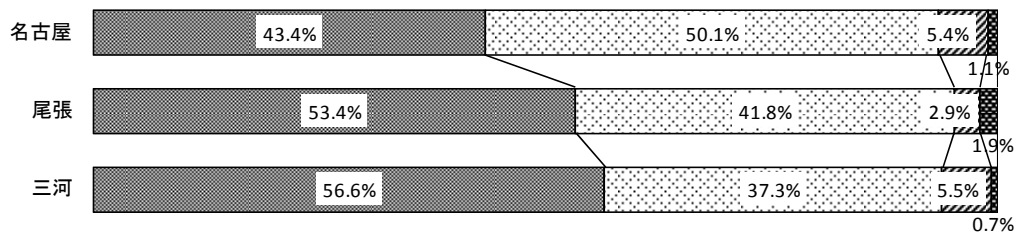
消防団の評価について、「大きく貢献しており必要不可欠である」と答えた人の割合が 51.6%。次いで「よくわからない」が 42.7%。「あまり必要のない組織である」が 4.5%となっている。

設問 2 属性別回答結果

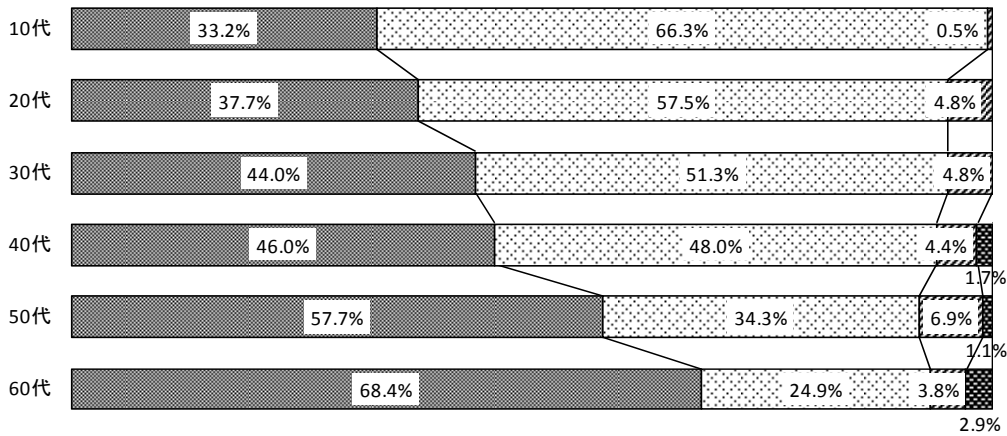
【性別】



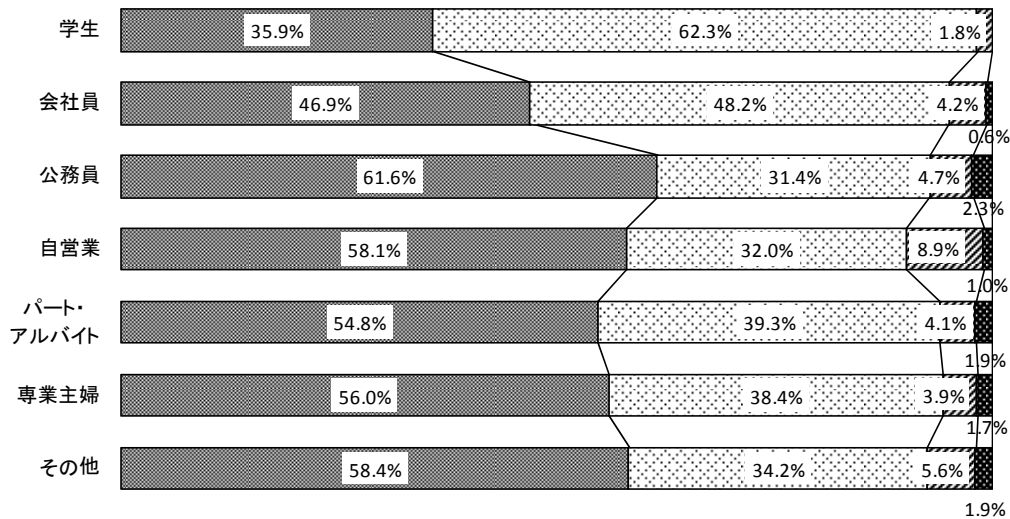
【地域別】



【年代別】



【職業別】



地域別で見ると、三河で「大きく貢献しており必要不可欠である」と答えた人の割合が56.6%と名古屋の43.4%に比べ約13ポイント高くなっている。

年代別で見ると、60代で「大きく貢献しており必要不可欠である」と答えた人の割合が68.4%と10代の33.2%に比べ約35ポイント高く、年齢層が高いほど消防団活動を評価している。

設問 3. 消防団の主な活動のうちイメージが強いのはどの活動ですか

3 消防団の主な活動のうちイメージが強いのはどの活動ですか (☑ は 3 つまで)

消火活動 (消防署の消火活動の補助を含む)

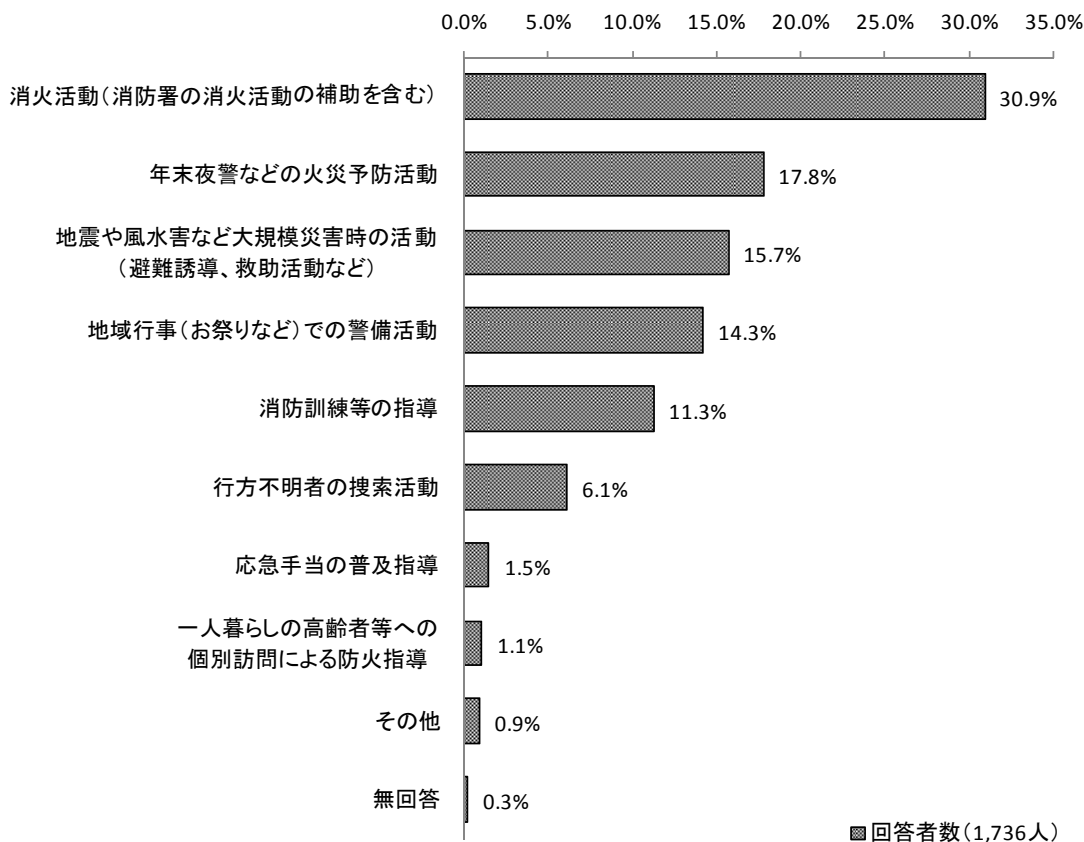
消防訓練等の指導 行方不明者の搜索活動

地震や風水害など大規模災害時の活動 (避難誘導、救助活動など)

一人暮らしの高齢者等への個別訪問による防火指導

応急手当の普及指導 地域行事 (お祭りなど) での警備活動

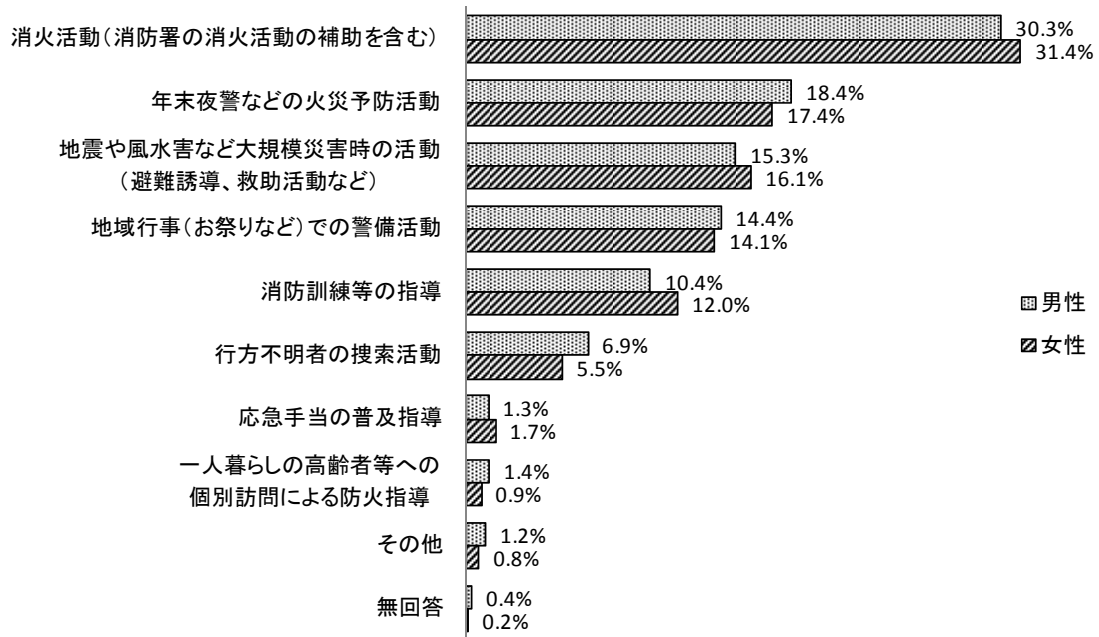
年末夜警などの火災予防活動 その他 ()



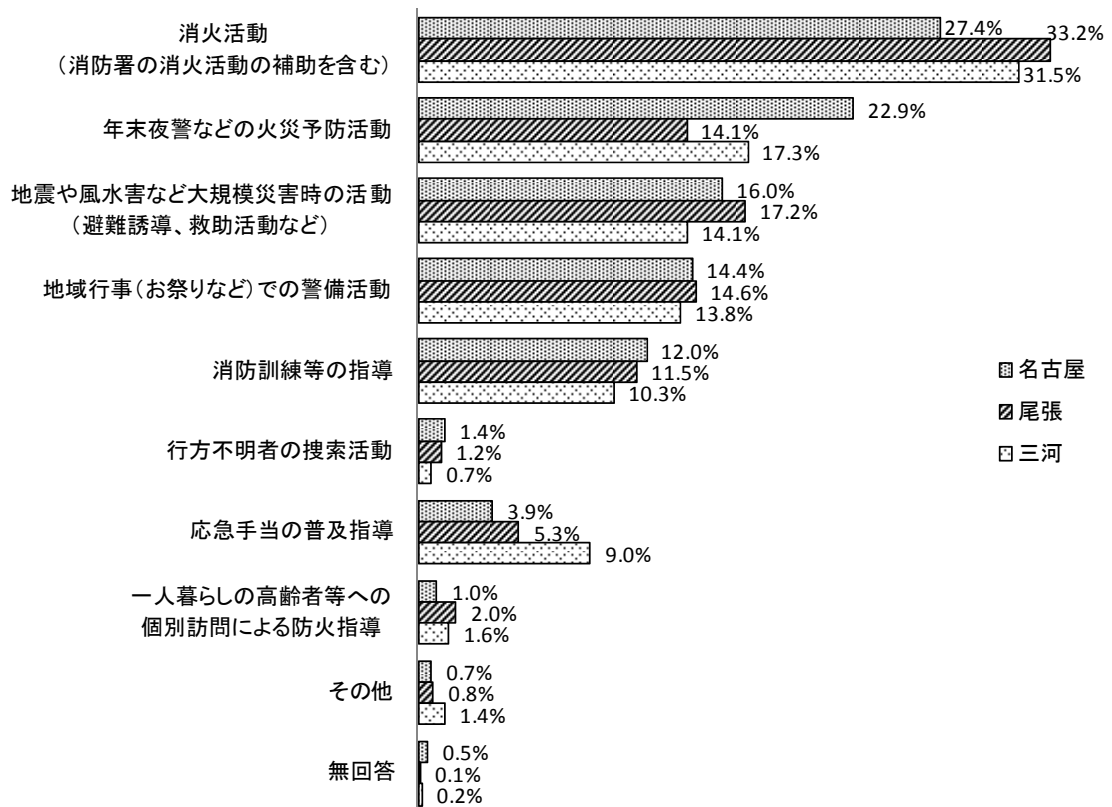
消防団の活動イメージとして、「消火活動 (消防署の消火活動の補助を含む)」と答えた人の割合が 30.9%で一番高く、次いで「年末夜警などの火災予防活動」が 17.8%。「地震や風水害など大規模災害時の活動 (避難誘導、救助活動など)」が 15.7%、「地域行事 (お祭りなど) での警備活動」が 14.3%となっている。

設問 3 属性別回答結果

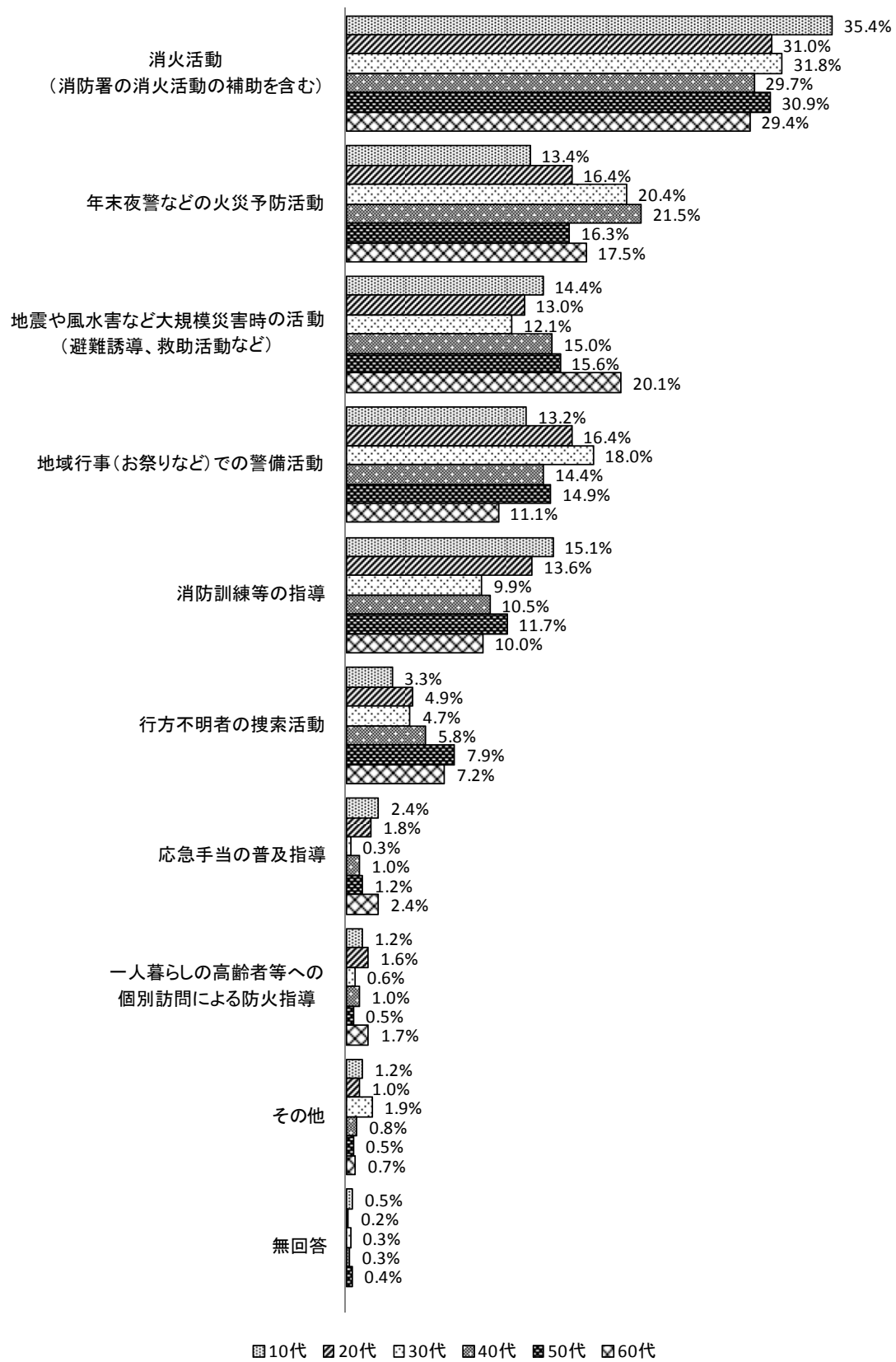
【性別】



【地域別】



【年代別】



どの属性においても消防団のイメージとして「消火活動（消防署の消火活動の補助を含む）」と答えた人の割合が一番高くなっている。

設問 4-1. あなたが消防団に望む活動は何ですか

平常時の活動

4-1 あなたが消防団に望む活動は何ですか (☑ はいくつでも可)

平常時の活動

消火活動 (消防署の消火活動の補助を含む)

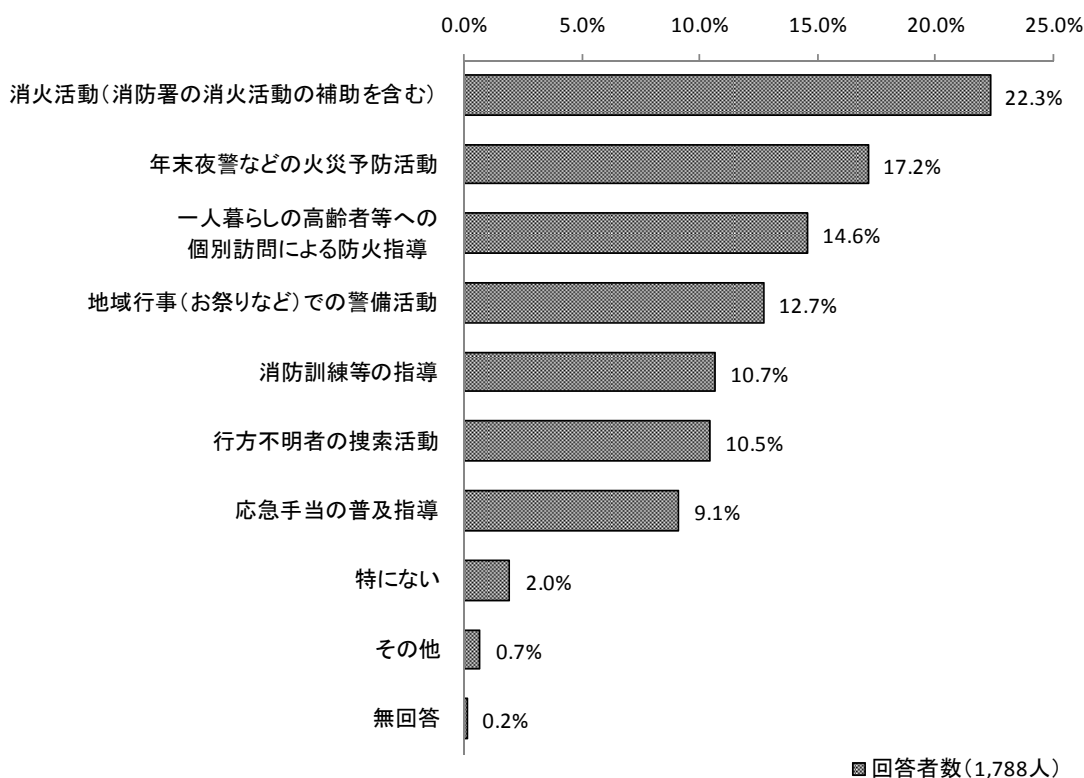
消防訓練等の指導 行方不明者の搜索活動

一人暮らしの高齢者等への個別訪問による防火指導

応急手当の普及指導 地域行事 (お祭りなど) での警備活動

年末夜警などの火災予防活動 特にない

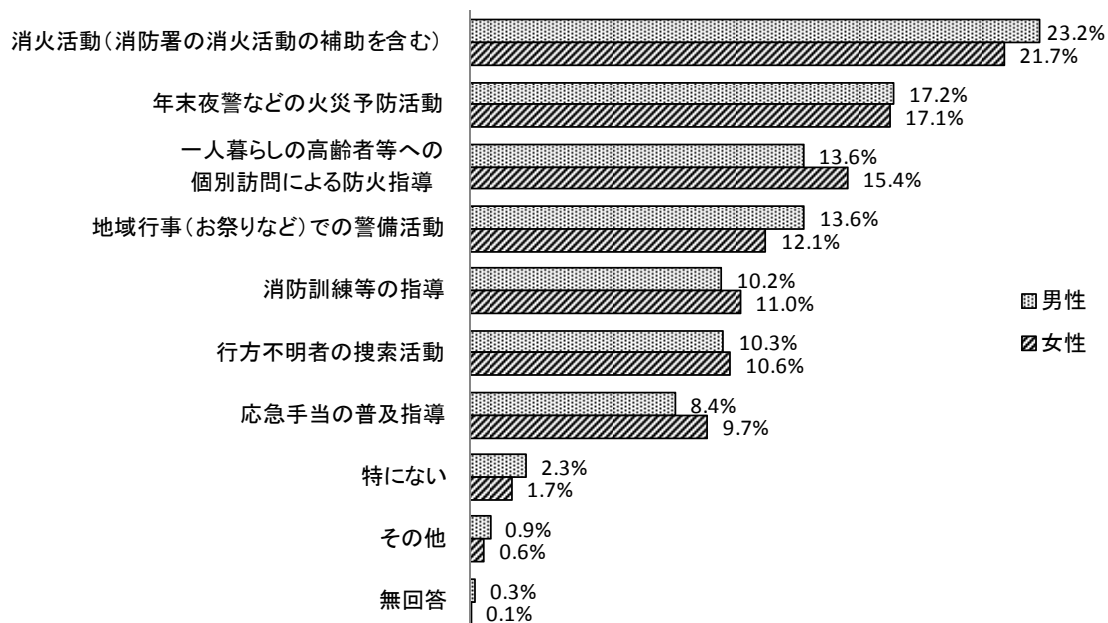
その他 ()



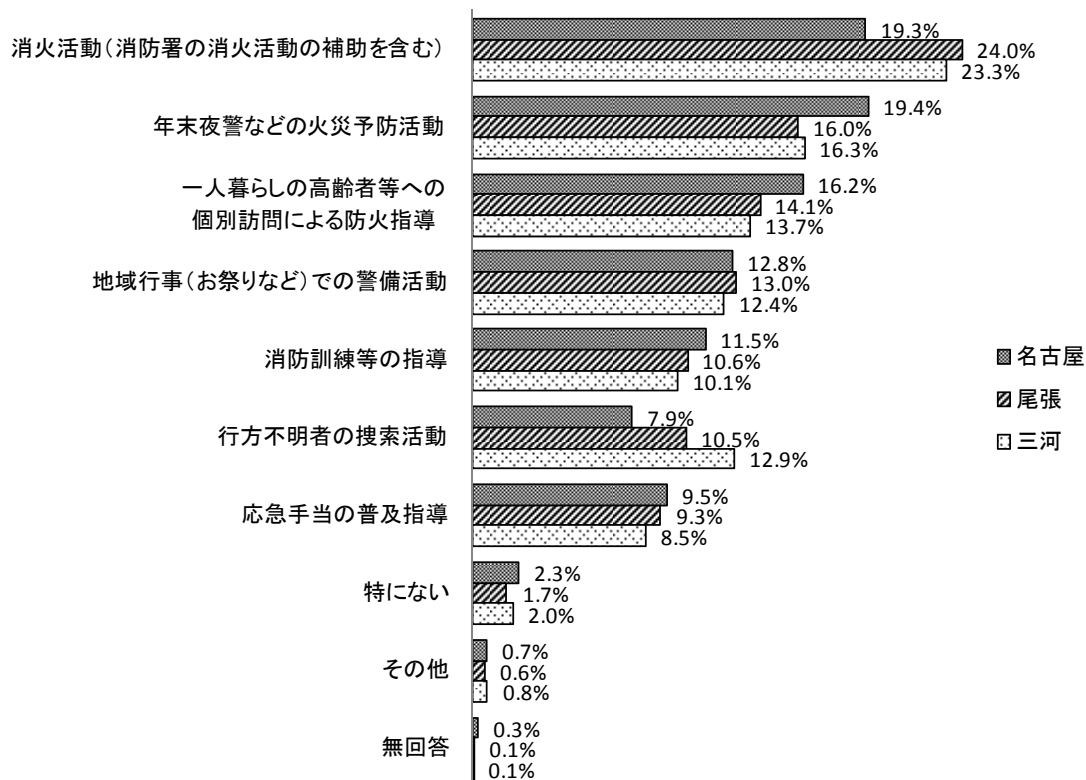
消防団に望む活動 (平常時) として、「消火活動 (消防署の消火活動の補助を含む)」と答えた人の割合が 22.3%と一番高く、次いで「年末夜警などの火災予防活動」が 17.2%、「一人暮らしの高齢者等への個別訪問による防火指導」が 14.6%、「地域行事 (お祭りなど) での警備活動」が 12.7%となっている。

設問 4-1 属性別回答結果

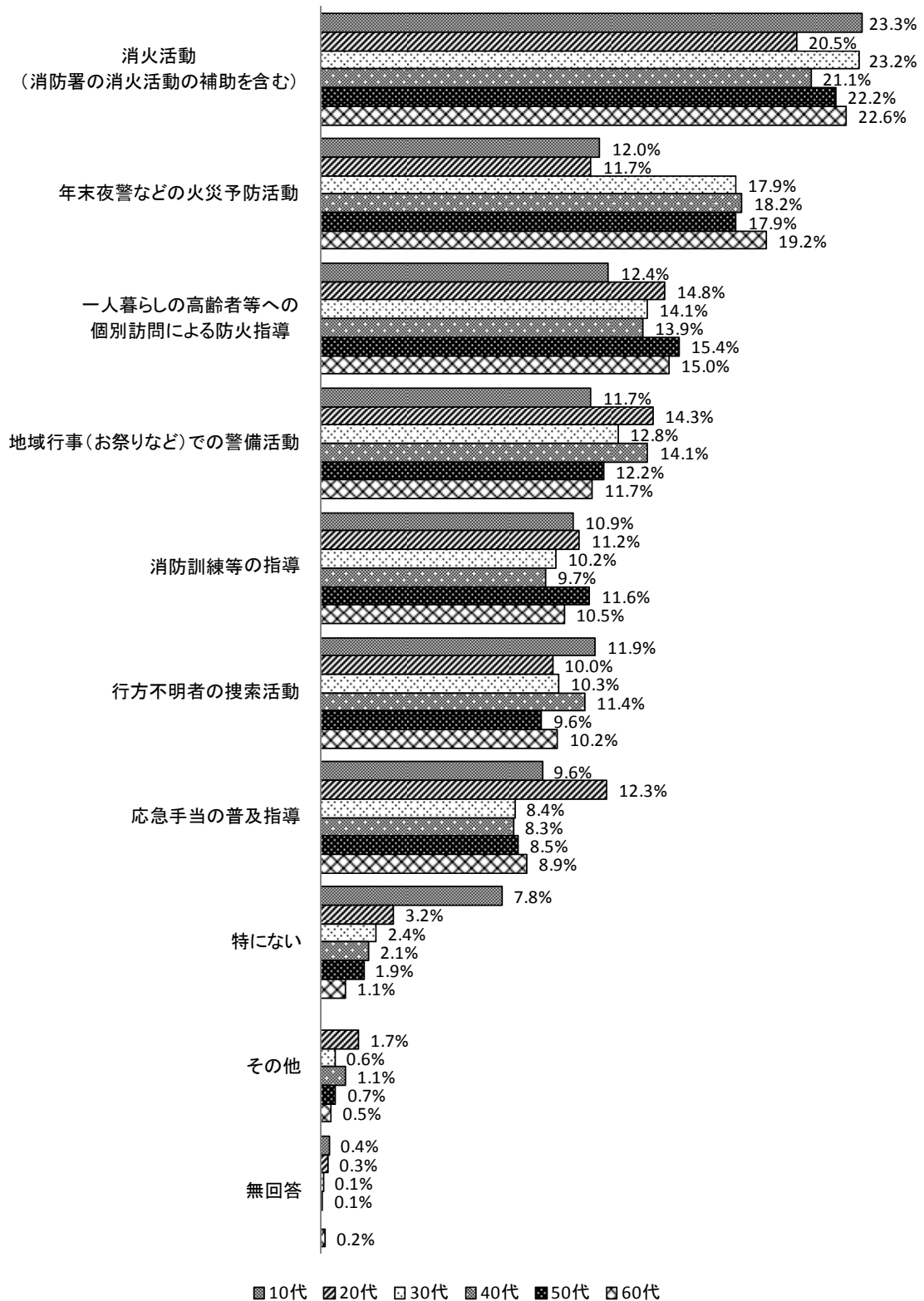
【性別】



【地域別】



【年代別】



地域別で見ると、名古屋で「年末夜警などの火災予防活動」と答えた人の割合が19.4%と一番高くなっている。

年代別で見ると、10代で「特にない」と答えた人の割合が7.8%と他の年代層に比べ約2.5から7倍となっている。

設問 4-2. あなたが消防団に望む活動は何ですか
大規模災害時（地震、台風など）における活動

4-2 あなたが消防団に望む活動は何ですか（☑はいくつでも可）
大規模災害時（地震、台風など）における活動

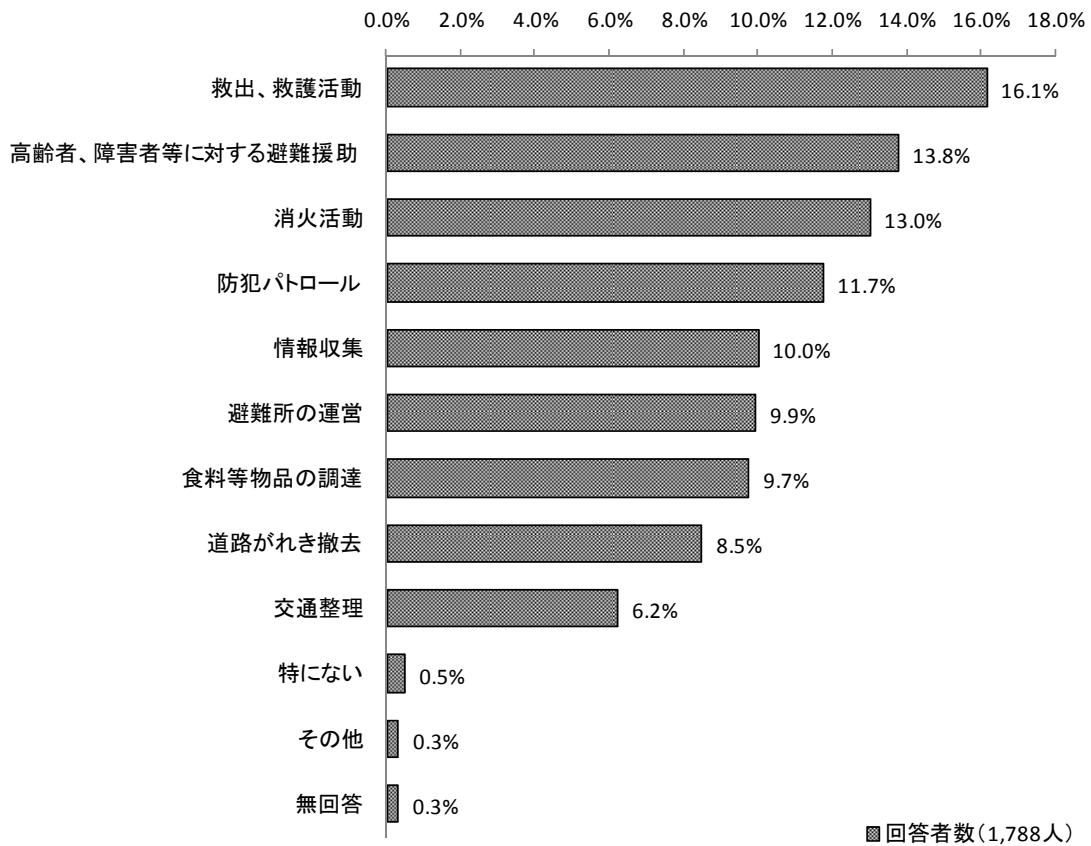
情報収集 救出、救護活動 食料等物品の調達

道路がれき撤去 交通整理 防犯パトロール

避難所の運営 消火活動

高齢者、障害者等に対する避難援助 特にない

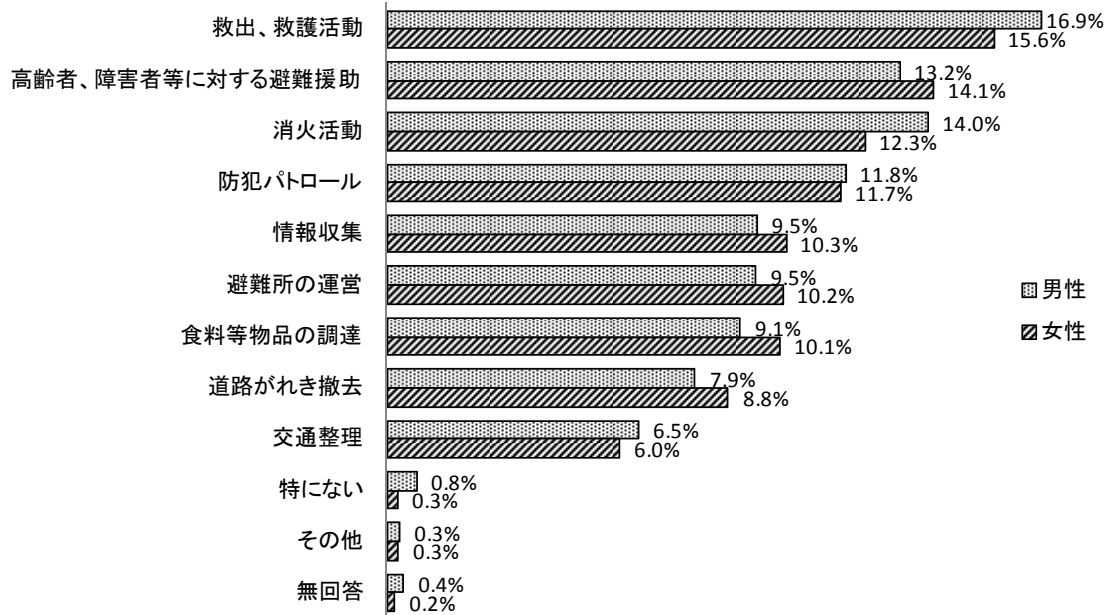
その他（ ）



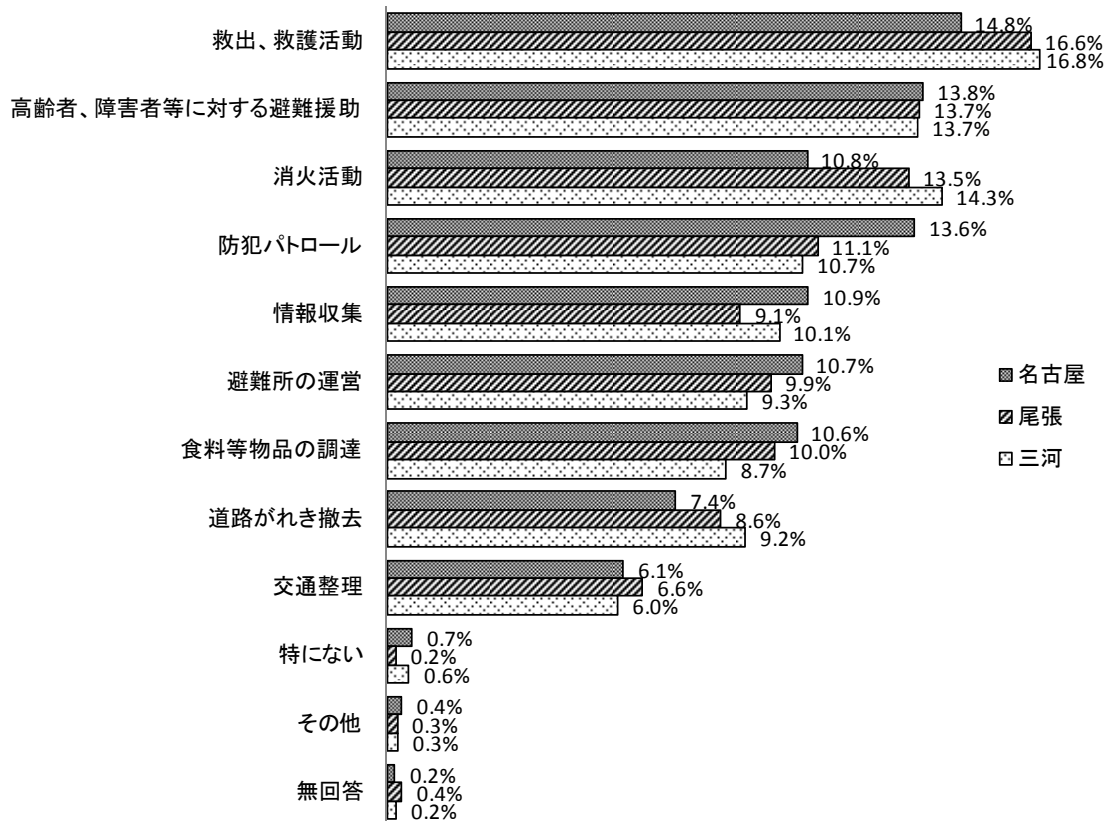
消防団に望む活動（大規模災害時）として、「救出、救護活動」と答えた人の割合が 16.1%で一番高く、次いで「高齢者、障害者等に対する避難援助」が 13.8%。「消火活動」が 13.0%、「防犯パトロール」が 11.7%となっている。

設問 4-2 属性別回答結果

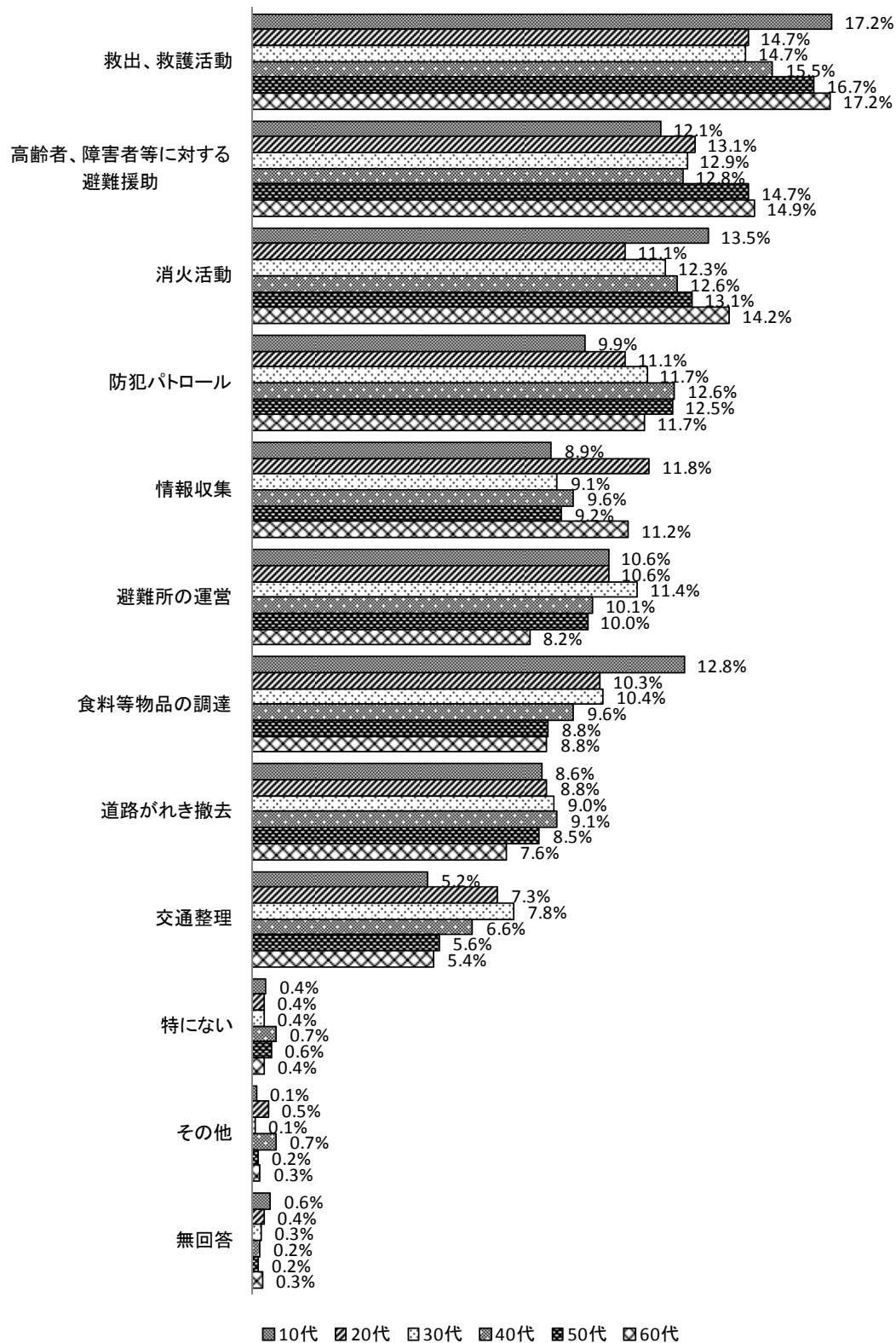
【性別】



【地域別】



【年代別】

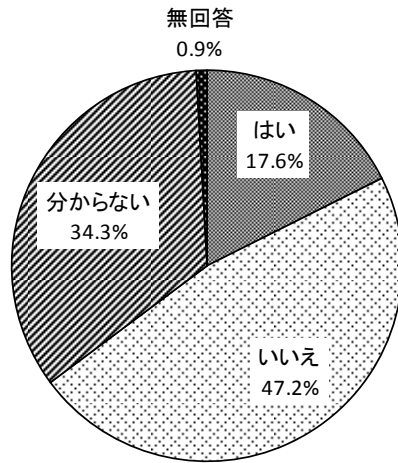


年代別でみると、10代で「食料等の物品の調達」と答えた人の割合が12.8%と3番目に高くなっている。

設問 5. あなたが消防団の加入対象者であったとします

もし、消防団への勧誘があった場合に消防団に入りますか

5 あなたが消防団の加入対象者であったとします (☑ は一つ)
もし、消防団への勧誘があった場合に消防団に入りますか
 はい いいえ 分からない

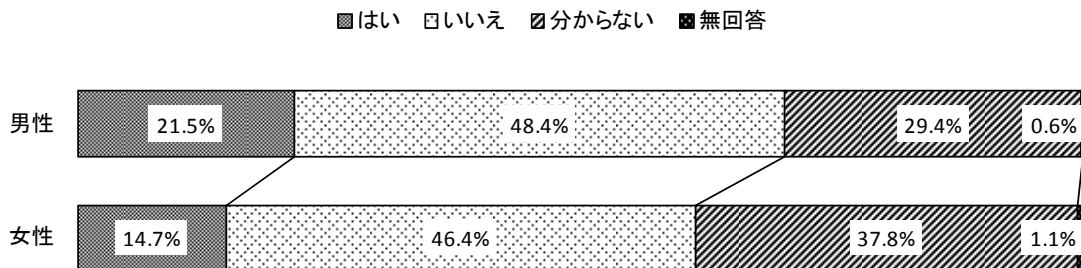


回答者数 1,788人

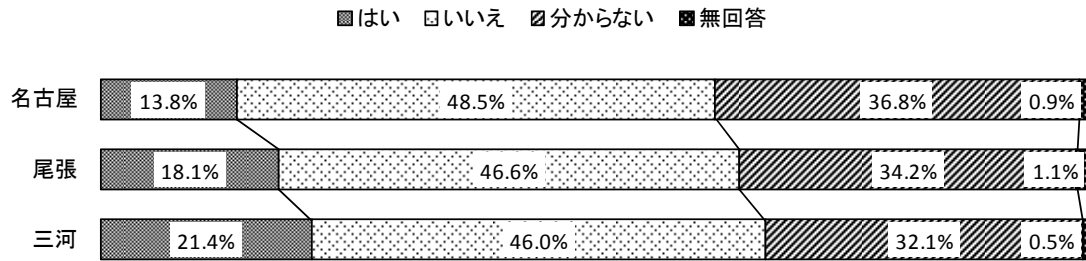
消防団への勧誘について「消防団へ加入しない」と答えた人の割合が 47.2%と一番高く、次いで「わからない」が 34.3%、「消防団へ加入する」が 17.6%となっている。

設問 5 属性別回答結果

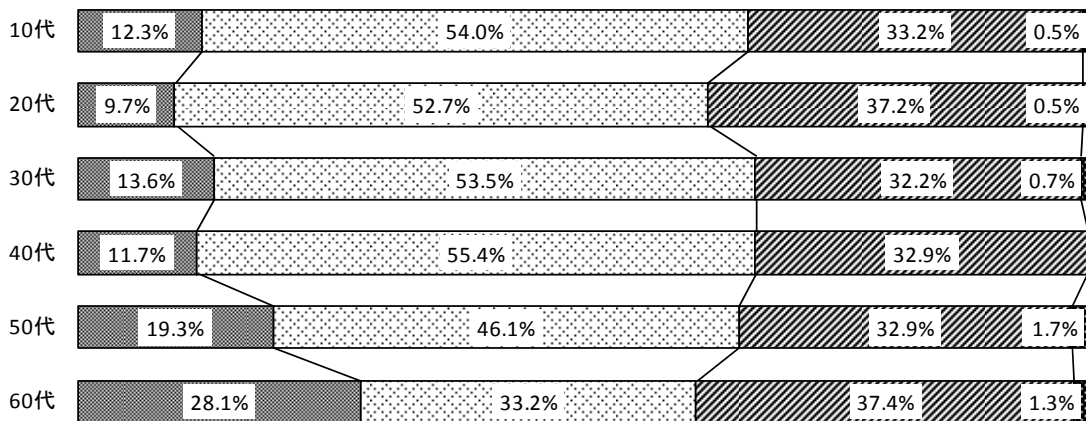
【性別】



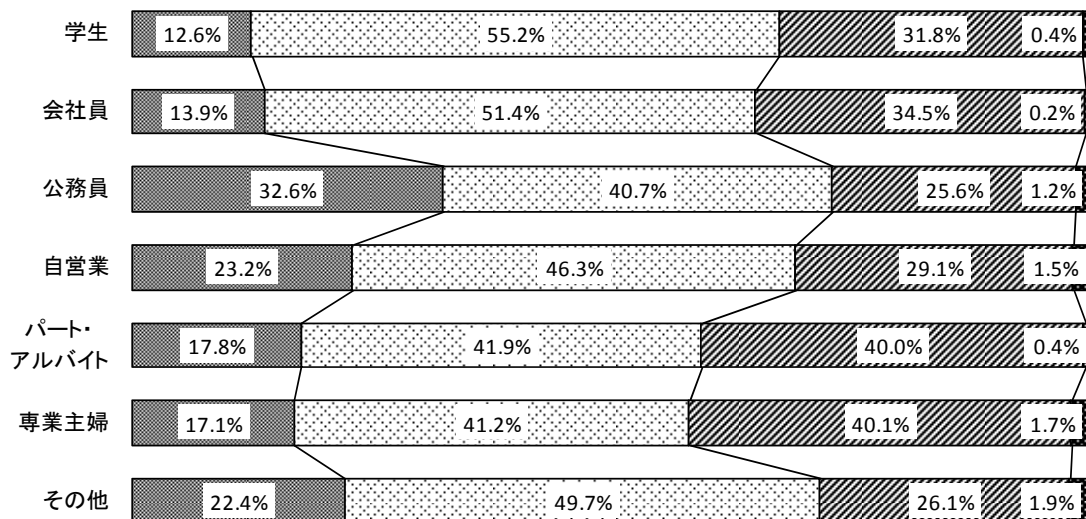
【地域別】



【年代別】



【職業別】



地域別でみると、三河で「消防団へ加入する」と答えた人の割合が21.4%と尾張に比べ3.3ポイント、名古屋に比べ7.6ポイント高くなっている。

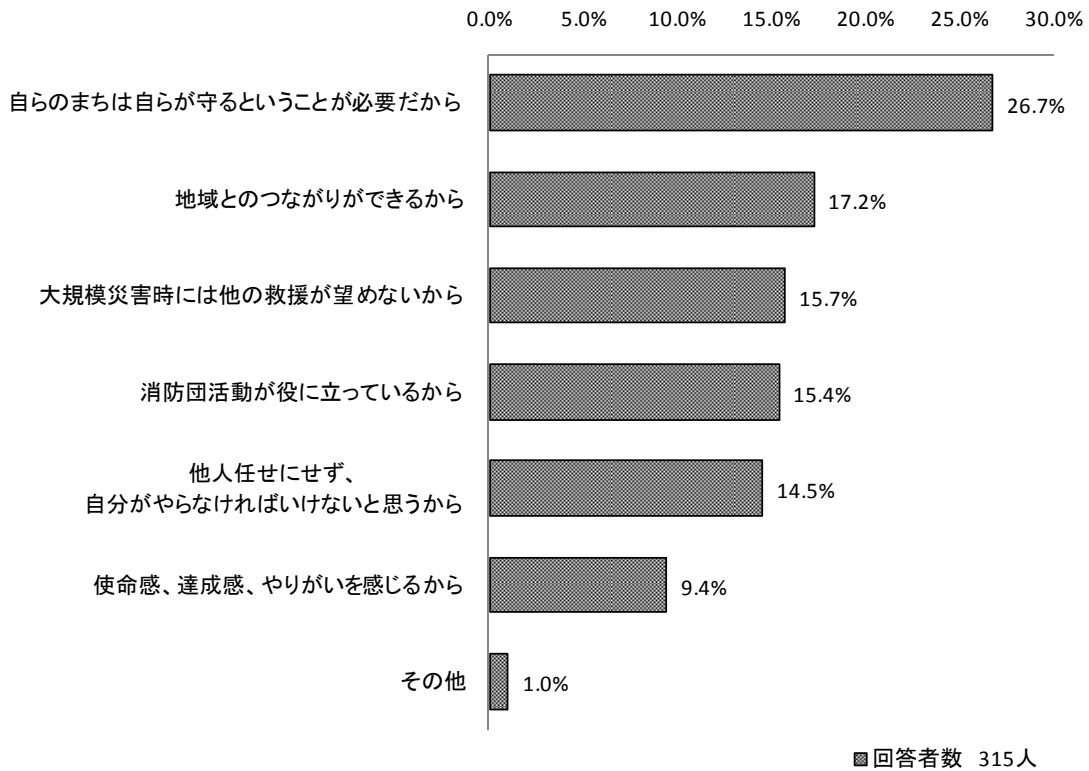
年代別にみると、60代で「消防団へ加入する」と答えた人の割合が28.1%、50代で19.3%と他の年代層に比べ、高くなっている。

職業別でみると、公務員が「消防団へ加入する」と答えた人の割合は32.6%、自営業が23.2%と他の職業に比べ、高くなっている。

設問 6-1. 「はい」と答えた理由は何ですか

6-1 「はい」と答えた理由は何ですか (☑ はいくつでも可)

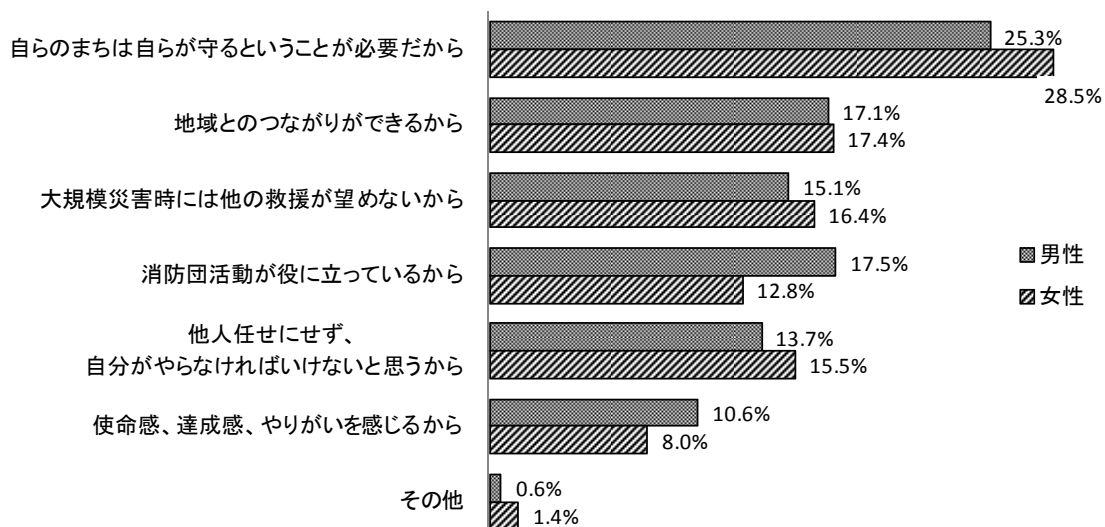
- 自らのまちは自らが守ることが必要だから
- 消防団活動が役に立っているから
- 他人任せにせず、自分がやらなければいけないと思うから
- 地域とのつながりができるから
- 使命感、達成感、やりがいを感じるから
- 大規模災害時には他の救援が望めないから
- その他 ()



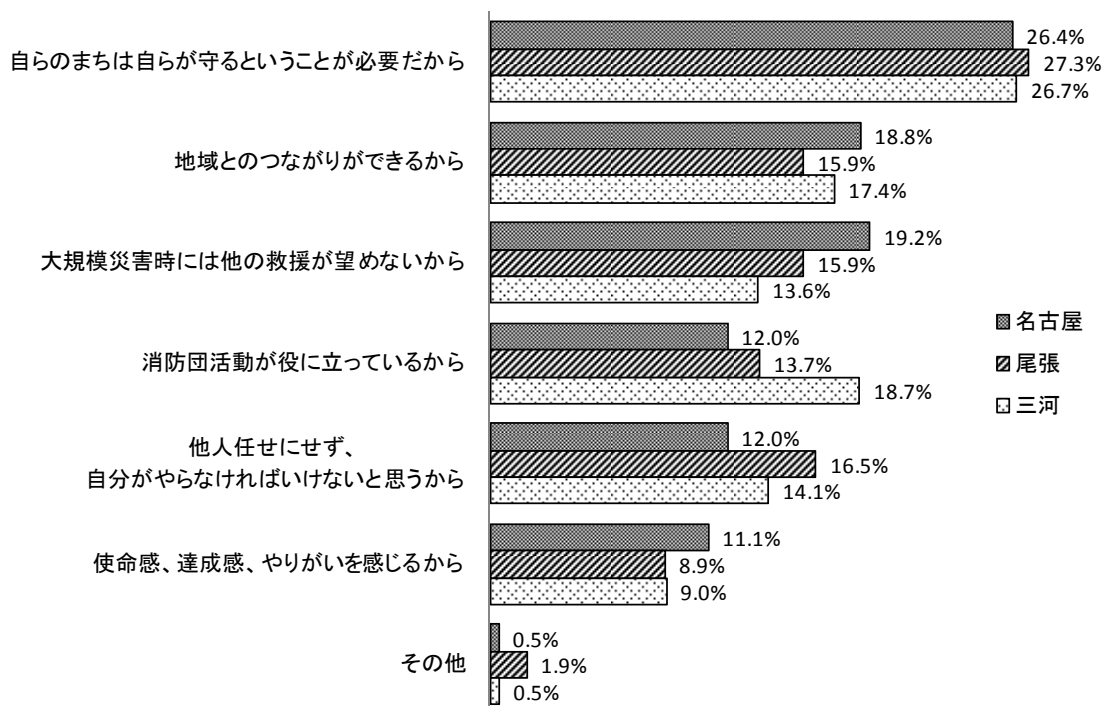
「はい」と答えた理由として「自らのまちは自らが守ることが必要だから」と答えた人の割合が 26.7%で一番高く、次いで「地域とのつながりができるから」が 17.2%、「大規模災害時には他の救援が望めないから」が 15.7%、「消防団活動が役に立っているから」が 15.4%となっている。

設問 6-1 属性別回答結果

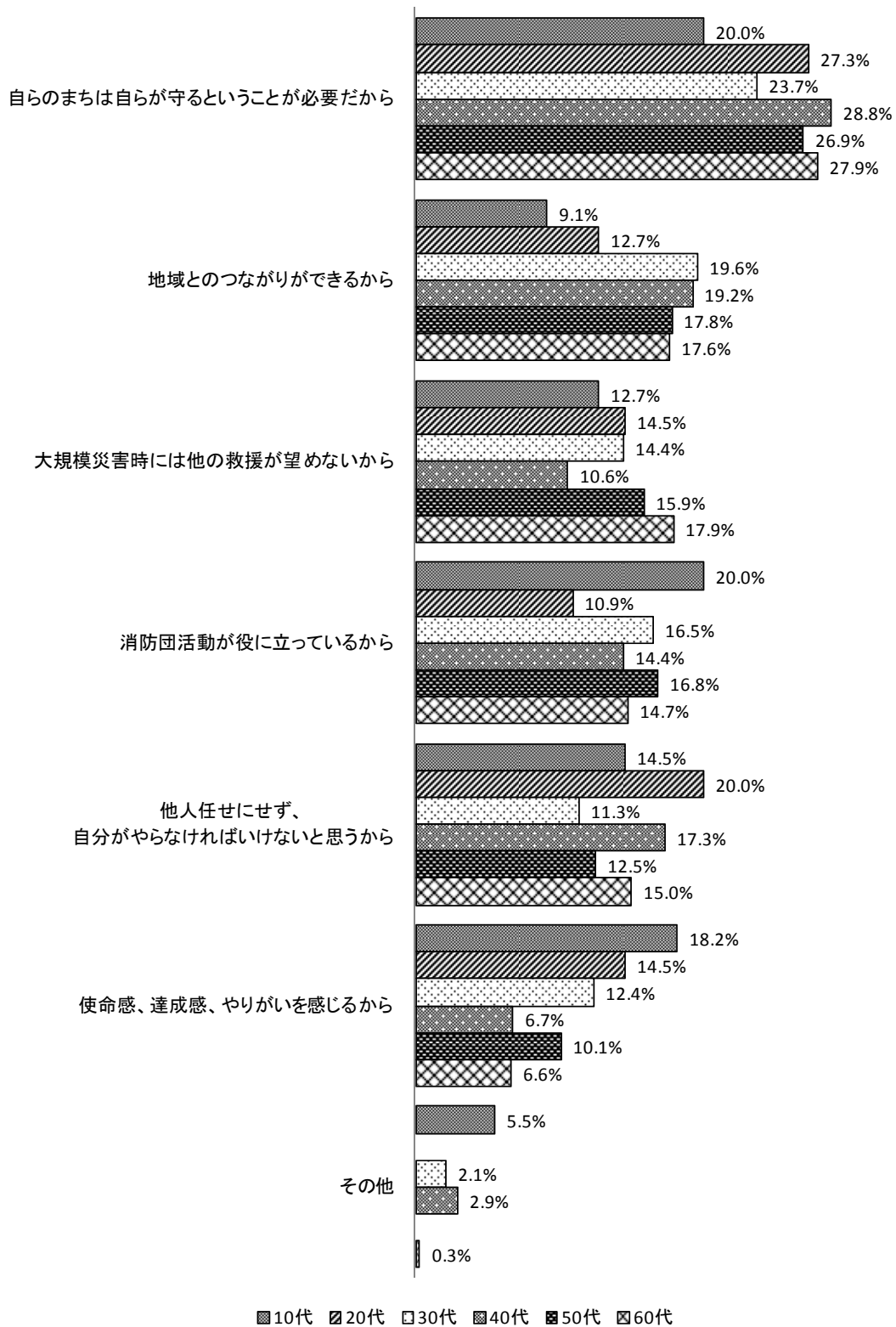
【性別】



【地域別】



【年代別】



地域別でみると、名古屋で「大規模災害時には他の救援が望めないから」と答えた人の割合が19.2%と尾張に比べ3.3ポイント、三河に比べ5.6ポイント高くなっている。

また、三河で「消防団活動が役に立っているから」と答えた人の割合が18.7%と尾張に比べ5ポイント、名古屋に比べ6.7ポイント高くなっている。

年代別でみると、10代で「使命感、達成感、やりがいを感じるから」と答えた人の割合が18.2%と他の年代層に比べ高く、同じく10代で「地域とのつながりができるから」と答えた割合が9.1%と他の年代層に比べ低くなっている。

設問 6-2. 「いいえ」と答えた理由は何ですか

6-2 「いいえ」と答えた理由は何ですか (☑ はいくつでも可)

消防団が役に立っているとは思えないから

活動が危険だから

他にやることがあり忙しいので、活動が十分に行えないため

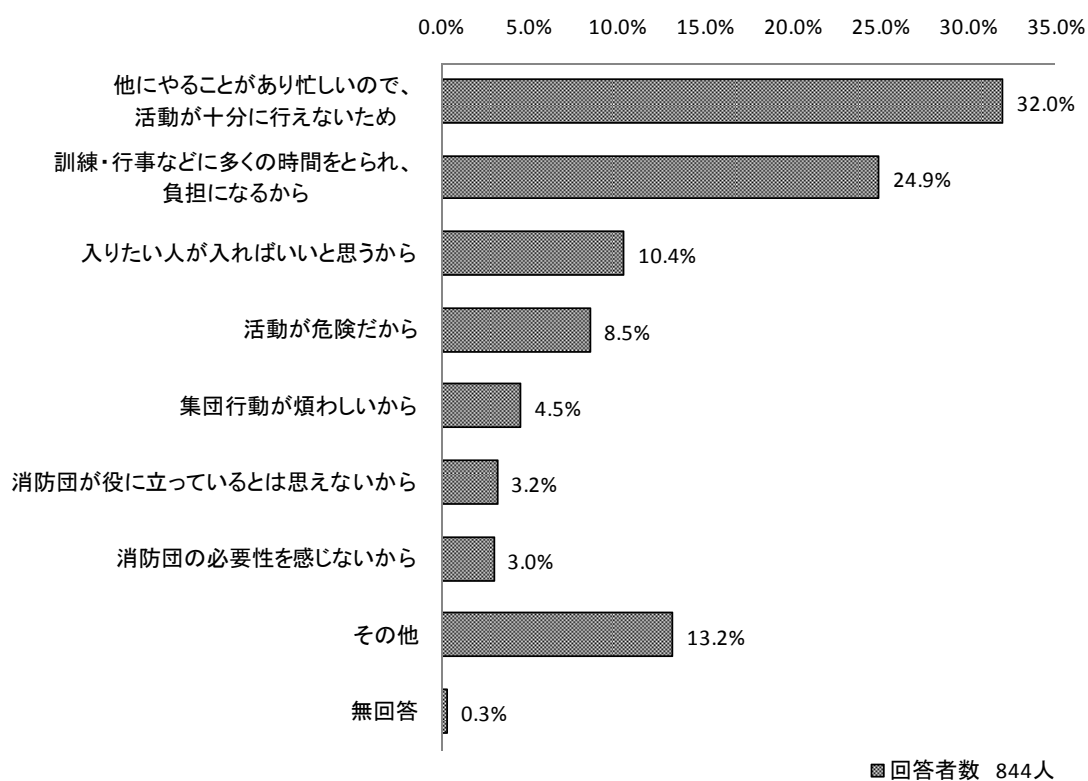
消防団の必要性を感じないから

入りたい人が入れればいいと思うから

集団行動が煩わしいから

訓練・行事などに多くの時間をとられ、負担になるから

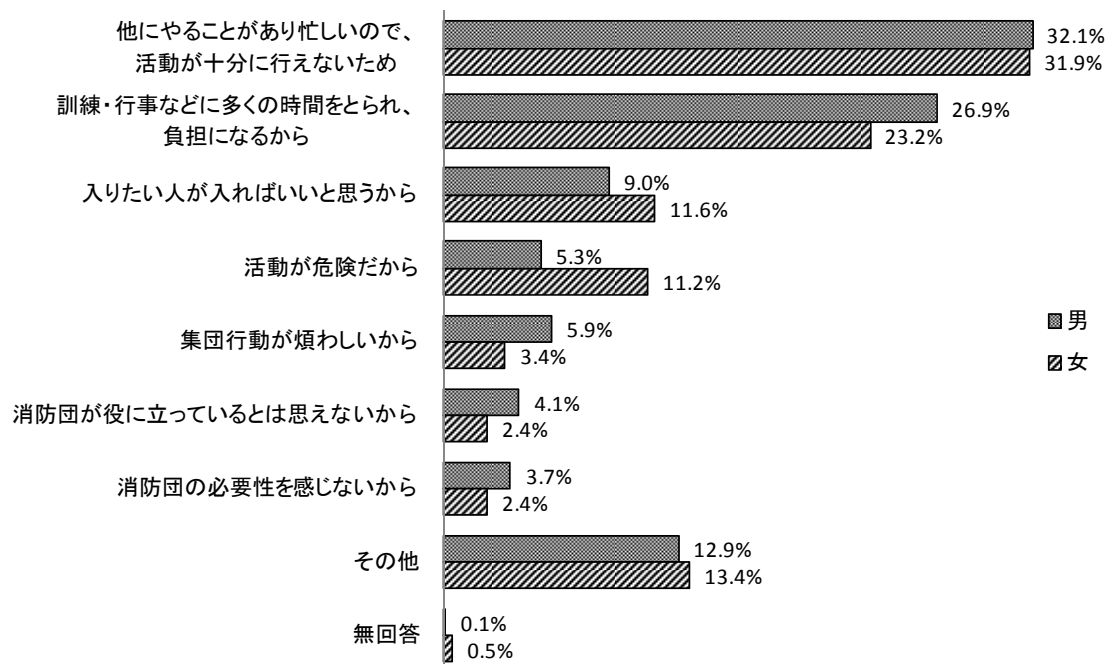
その他 ()



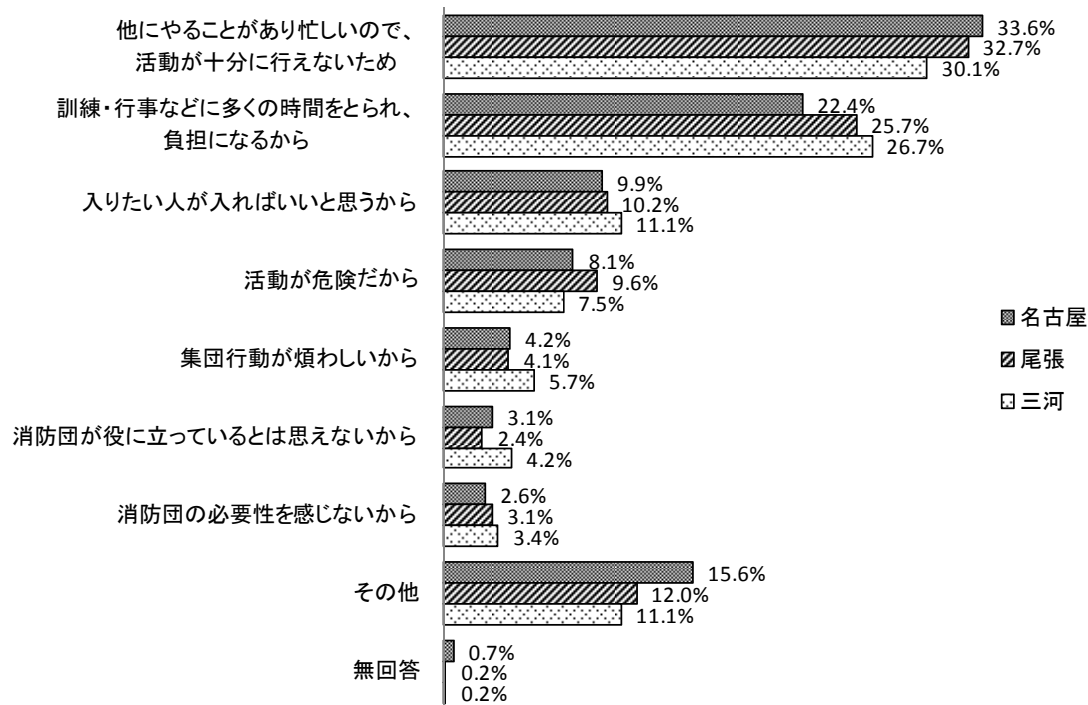
「いいえ」と答えた理由として、「他にやることがあり忙しいので、活動が十分に行えないため」と答えた人の割合が 32.0%で一番高く、次いで「訓練・行事などに多くの時間をとられ、負担になるから」が 24.9%と高くなっている。

設問 6-2 属性別回答結果

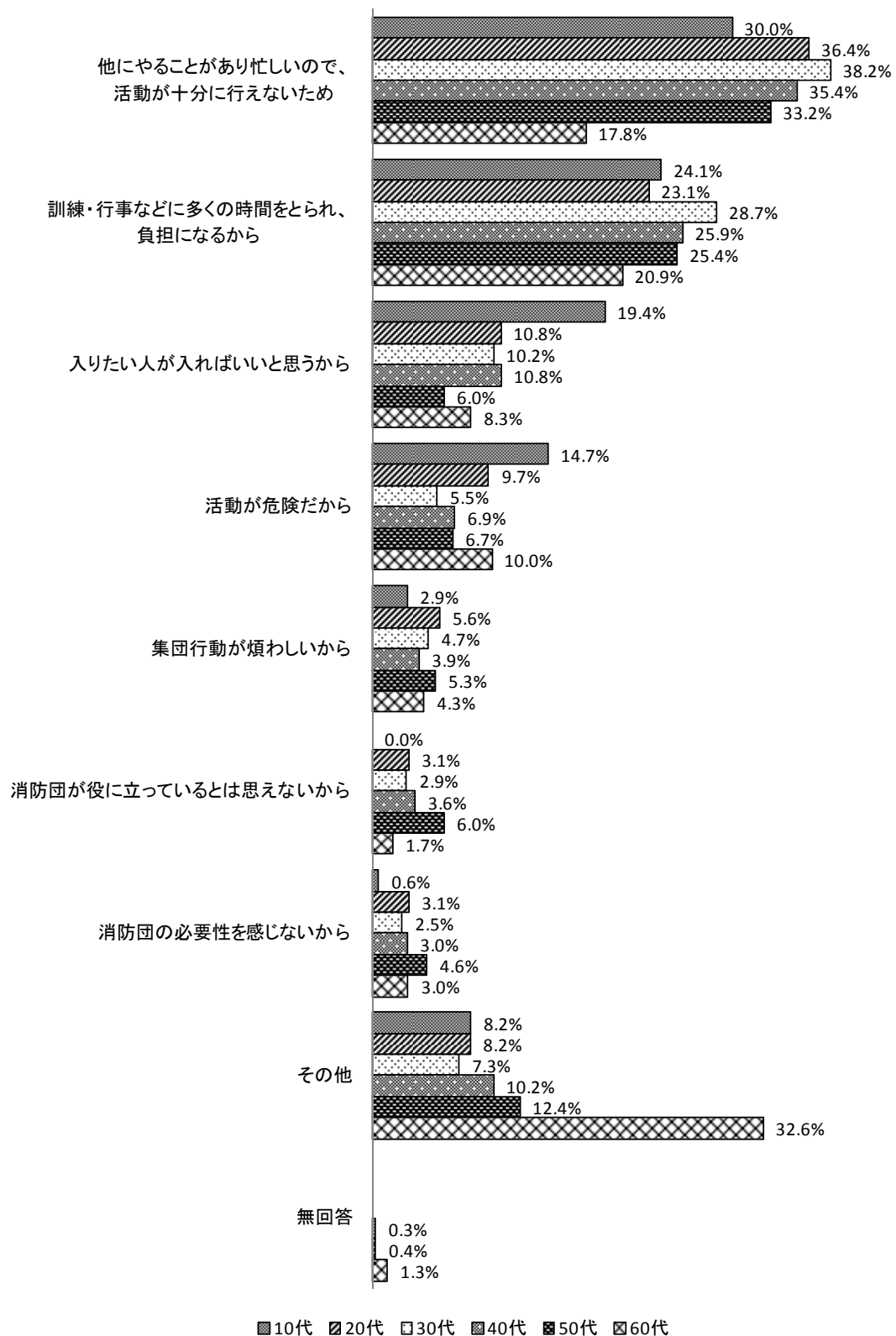
【性別】



【地域別】



【年代別】

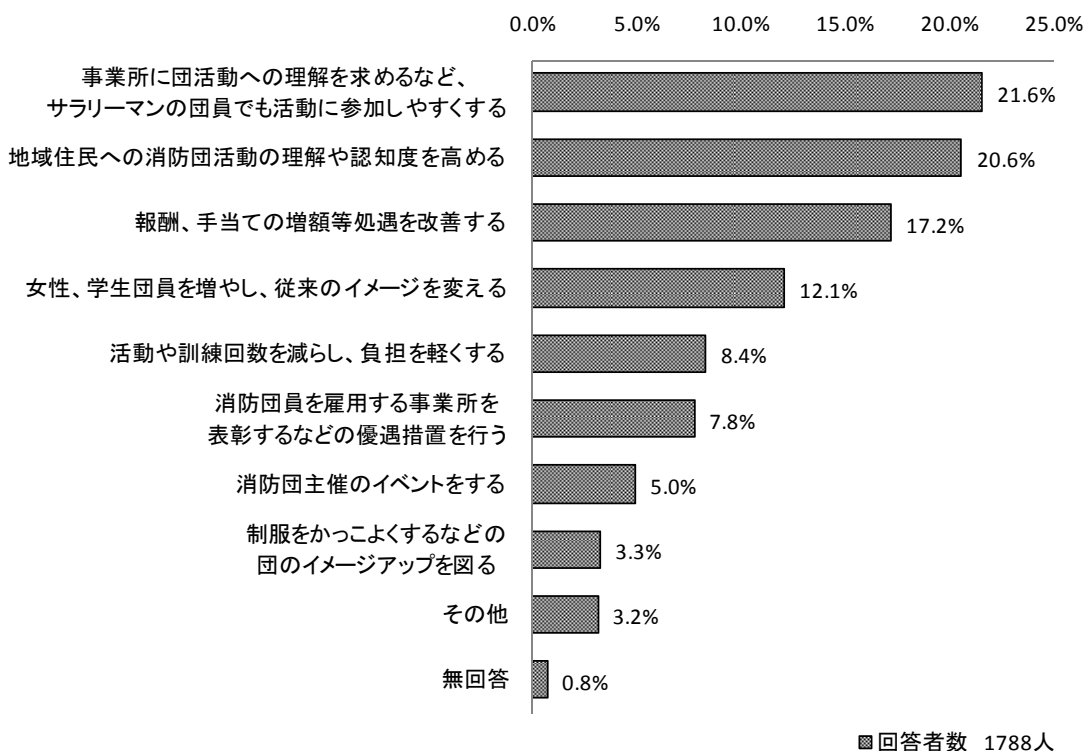


年代別でみると、10代で「入りたい人が入れば良いと思うから」と答えた人の割合が19.4%と他の年代層に比べ約9から13ポイント高くなっている。

設問 7.最後に、消防団員の減少傾向が続いていますが加入者が増加するような魅力ある消防団にするにはどのようにしたらよいと思いますか

7 最後に、消防団員の減少傾向が続いていますが加入者が増加するような魅力ある消防団にするにはどのようにしたらよいと思いますか (☐ はいくつでも可)

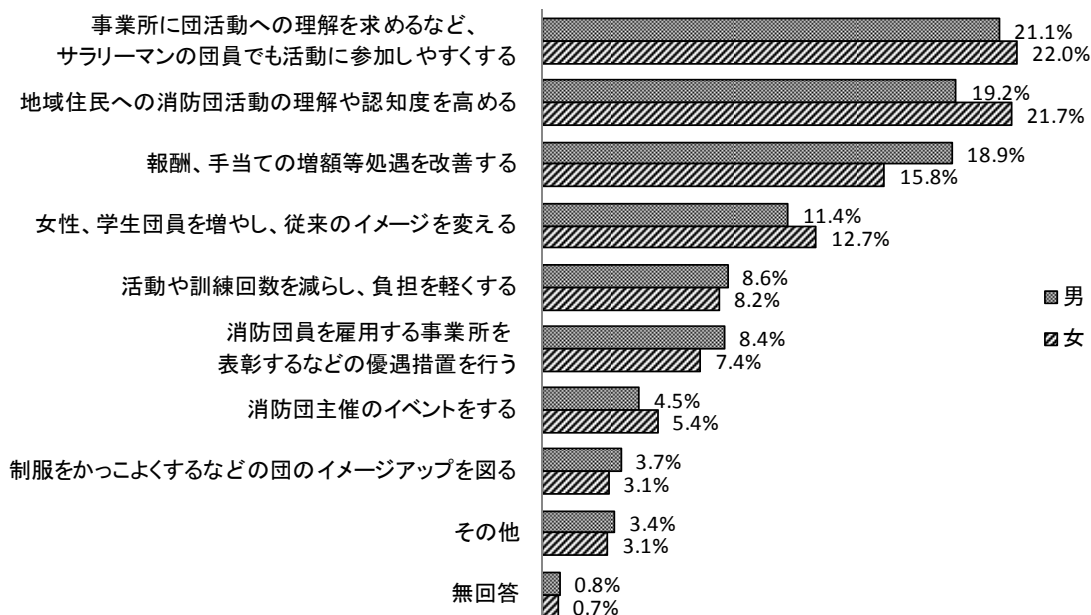
- 報酬、手当での増額等処遇を改善する
- 活動や訓練回数を減らし、負担を軽くする
- 事業所に団活動への理解を求めるなど、サラリーマンの団員でも活動に参加しやすくする
- 消防団員を雇用する事業所を表彰するなどの優遇措置を行う
- 消防団主催のイベントをする
- 女性、学生団員を増やし、従来のイメージを変える
- 地域住民への消防団活動の理解や認知度を高める
- 制服をカッコよくするなどの団のイメージアップを図る
- その他 ()



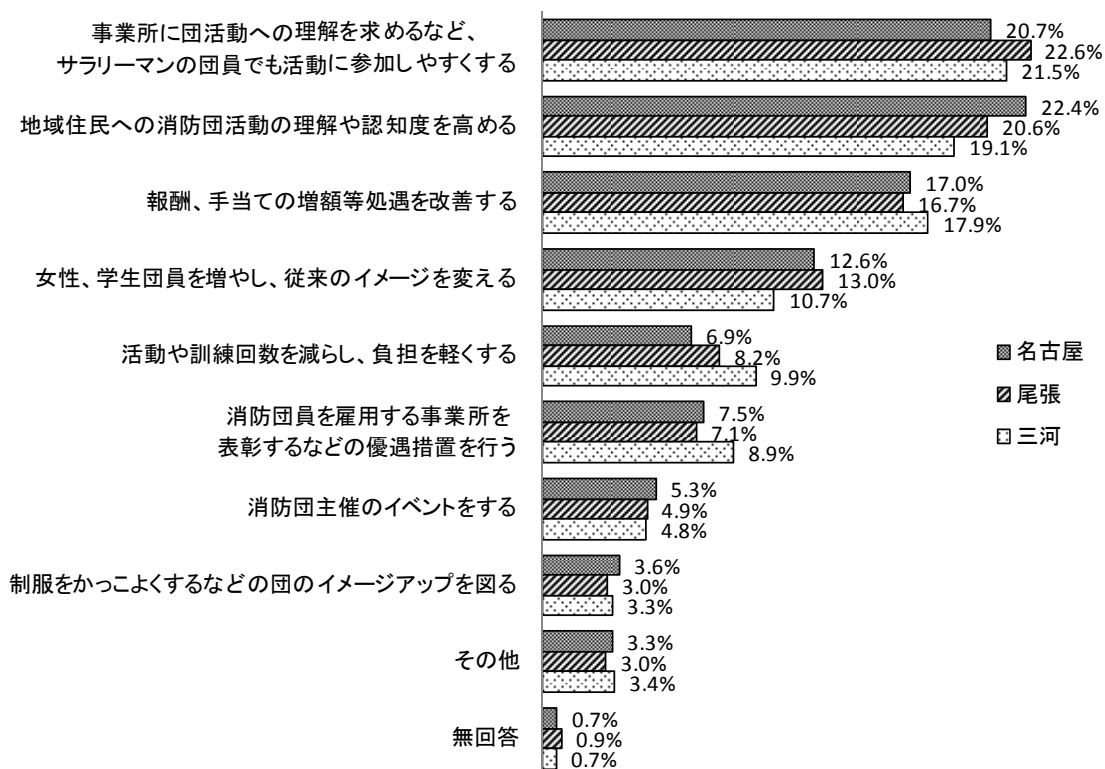
魅力ある消防団について、「事業所に団活動への理解を求めるなど、サラリーマンの団員でも活動に参加しやすくする」と答えた人の割合が 21.6%で一番高く、次いで「地域住民への消防団活動の理解や認知度を高める」が 20.6%、「報酬、手当での増額等処遇を改善する」が 17.2%となっている。

設問 7 属性別回答結果

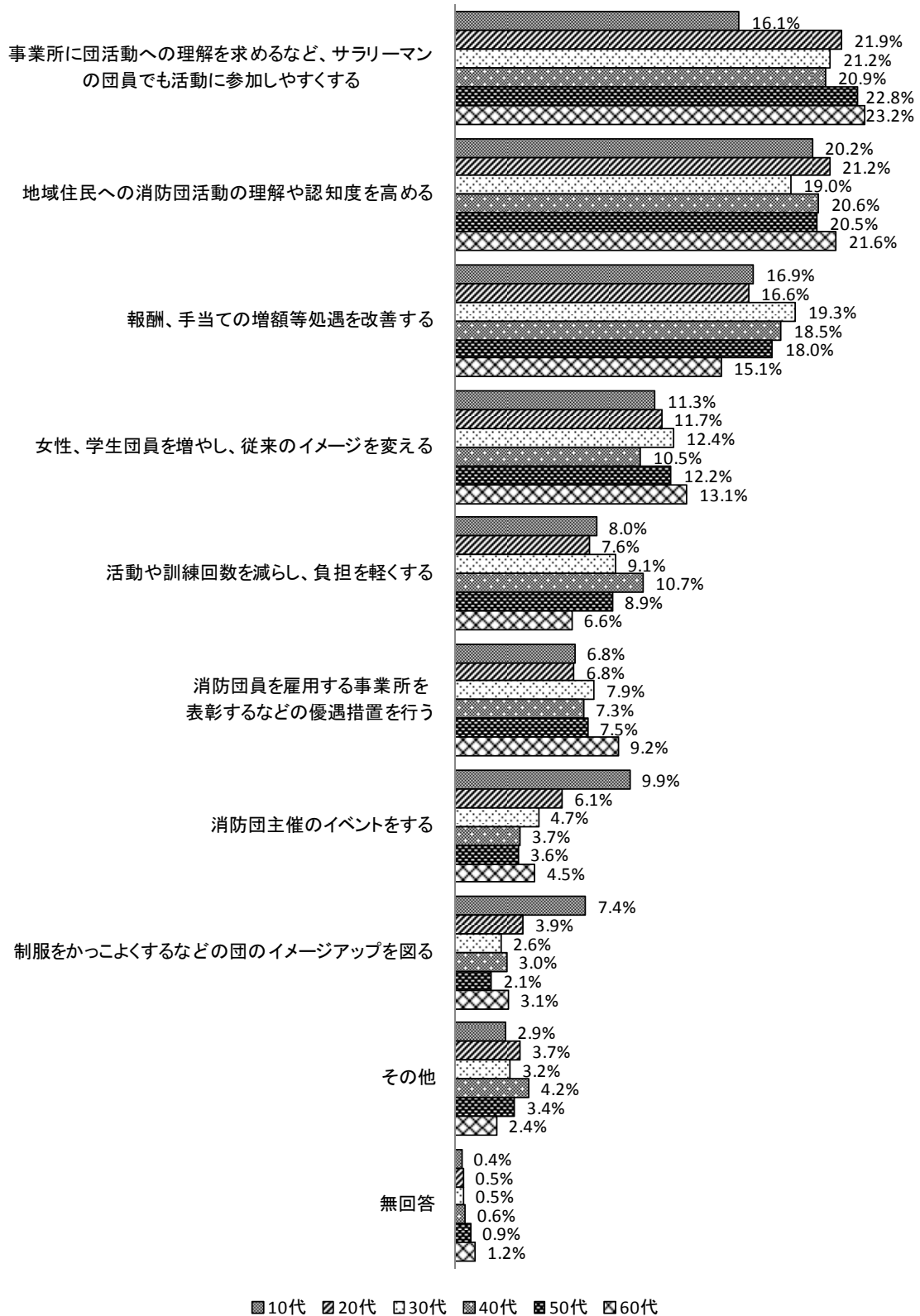
【性別】



【地域別】



【年代別】



年代別でみると、10代で「消防団主催のイベントをする」、「制服をカッコよくするなど
の団のイメージアップを図る」と答えた人の割合がそれぞれ9.9%、7.4%と、他の
年代層に比べ高くなっている。